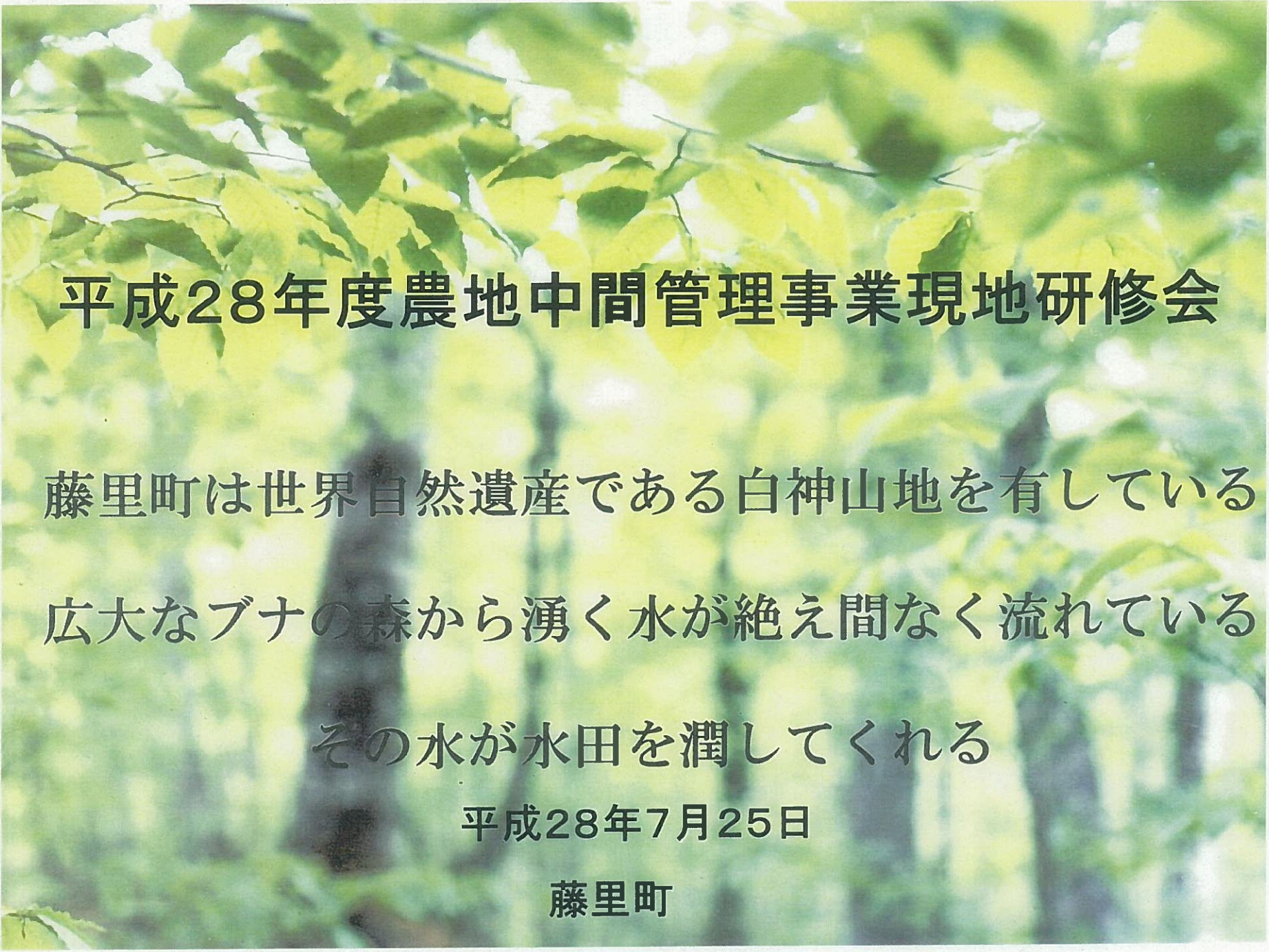




平成28年度農地中間管理事業現地研修会

藤里町は世界自然遺産である白神山地を有している
広大なブナの森から湧く水が絶え間なく流れている
その水が水田を潤してくれる

平成28年7月25日

藤里町

藤里町における農地の遊休化防止の事例



横倉棚田風景

藤里町農業概要

農業経営体	238戸
経営耕作面積	829ha
認定農業者	56人
担い手集積面積	599ha

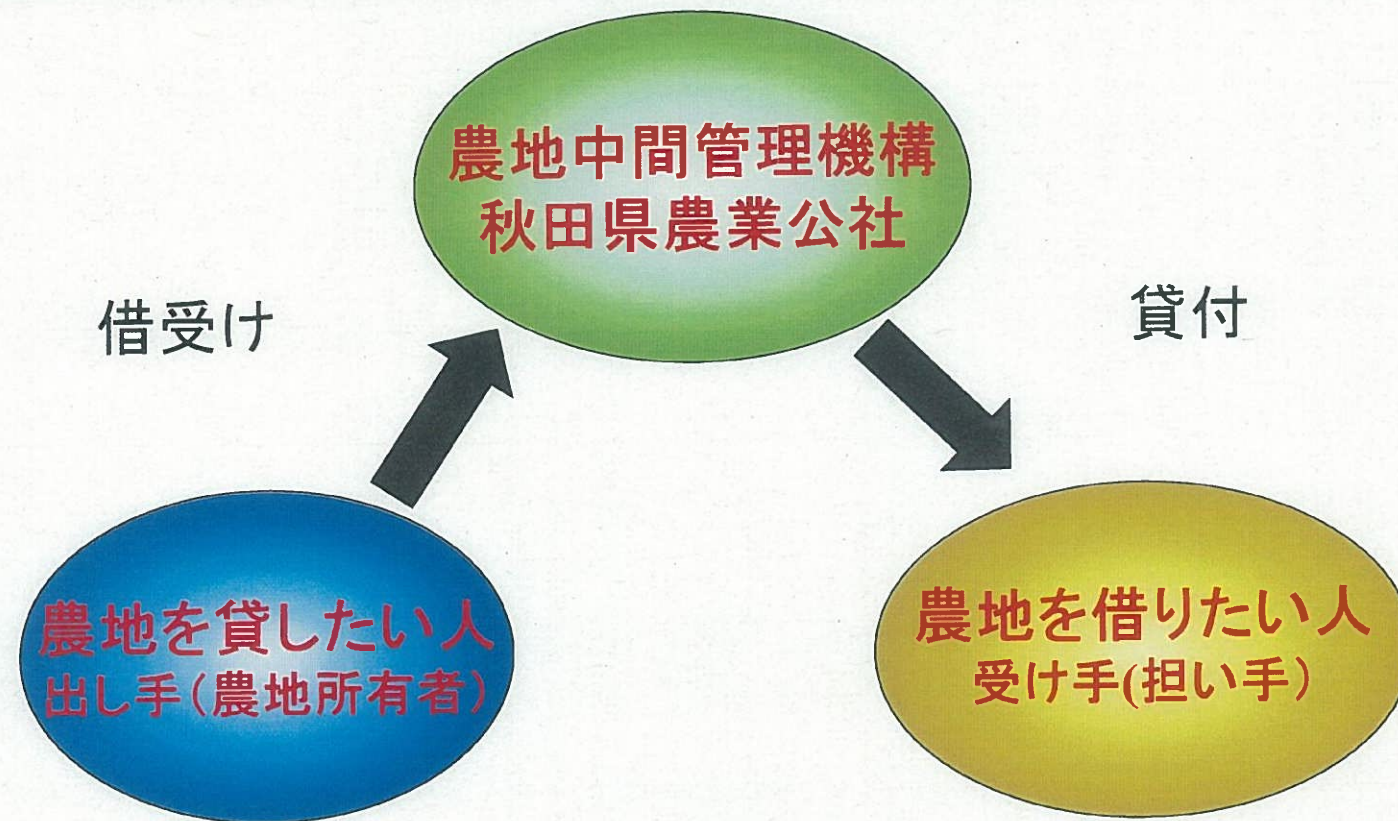
藤里町位置図



農地利用集積円滑化事業から農地中間管理事業



農地中間管理事業説明と事業の仕組み

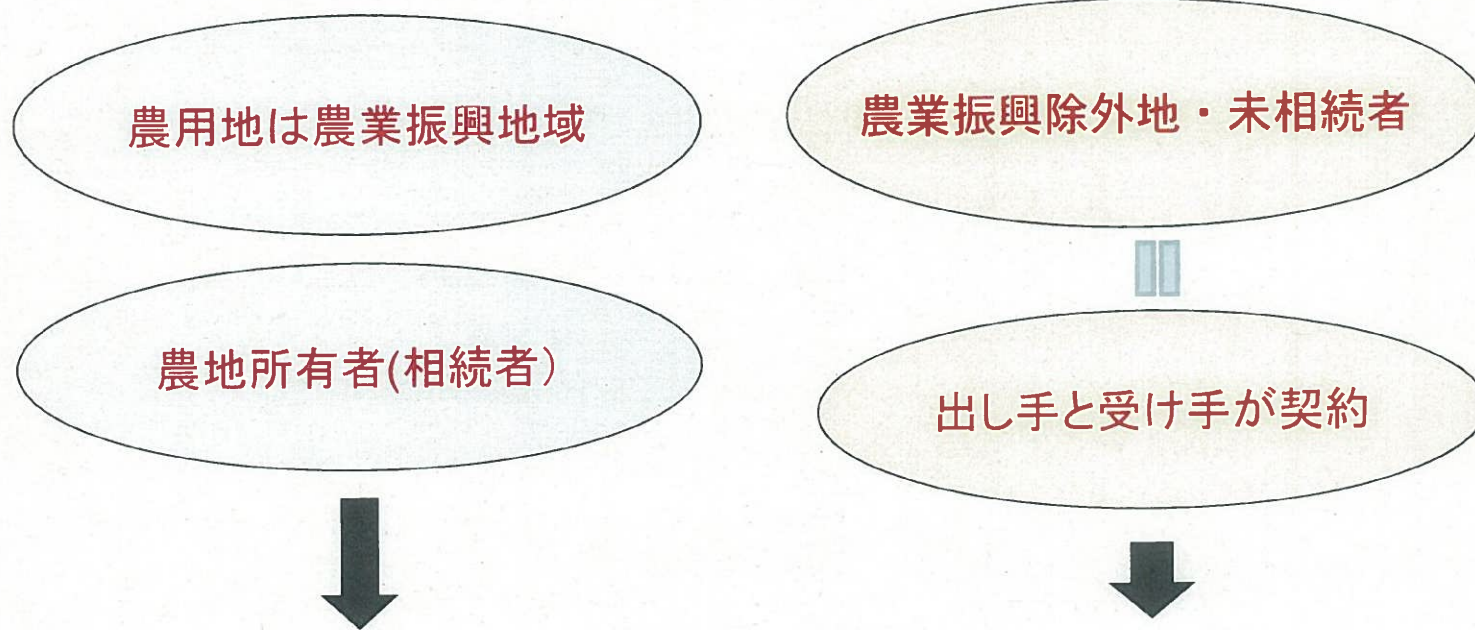


農業公社と契約
農業公社から賃借
料が振り込まれる

市町村・農業委員会・JA
秋田県・地域振興局

農地中間管理機構が借受ける農地

返還された農地を担い手に全て貸付けたい。



借受期間10年・担い手が作業しやすいように
集約化に配慮

遊休農地防止には迅速な手続き

4地区を2人の担い手で耕作

- 農地中間管理事業による借り貸し
103筆 238,361m² (農地所有者27名)
- 農業経営基盤強化促進法による借り貸し
15筆 33,565m² (農地所有者9名)
118筆 271,926m² (農地所有者36名契約)

迅速な事務手続で今年度作付を目指す

- 短い期間で契約まで行う
- 全体で事業説明会を開催
- 農地所有者からアンケート

スムーズな事務手続き

- **事業の説明**
- **書類の提出**

印鑑証明

銀行口座番号の写し

- **事業関係者紹介**

土地所有者と借り受け者で話し合いが出来た

土地所有者と事業担当者で面識が出来た

経緯と事務日程

○平成23年度農地利用集積円滑活化事業実施(期間6年)

2月 藤里町の認定農業者離農(農地耕作面積27ha)

3月 認定農業者家族から農地返還について相談を受ける
農業委員会で返還農地について話し合いを行う
農業委員が町内認定農業者や近隣農家に声を掛ける
農地中間管理機構に借受希望者等について相談
借受希望者に対して現地説明

4月 農地中間管理事業説明会

(農地所有者、受け手農家、中間管理機構、町関係者)

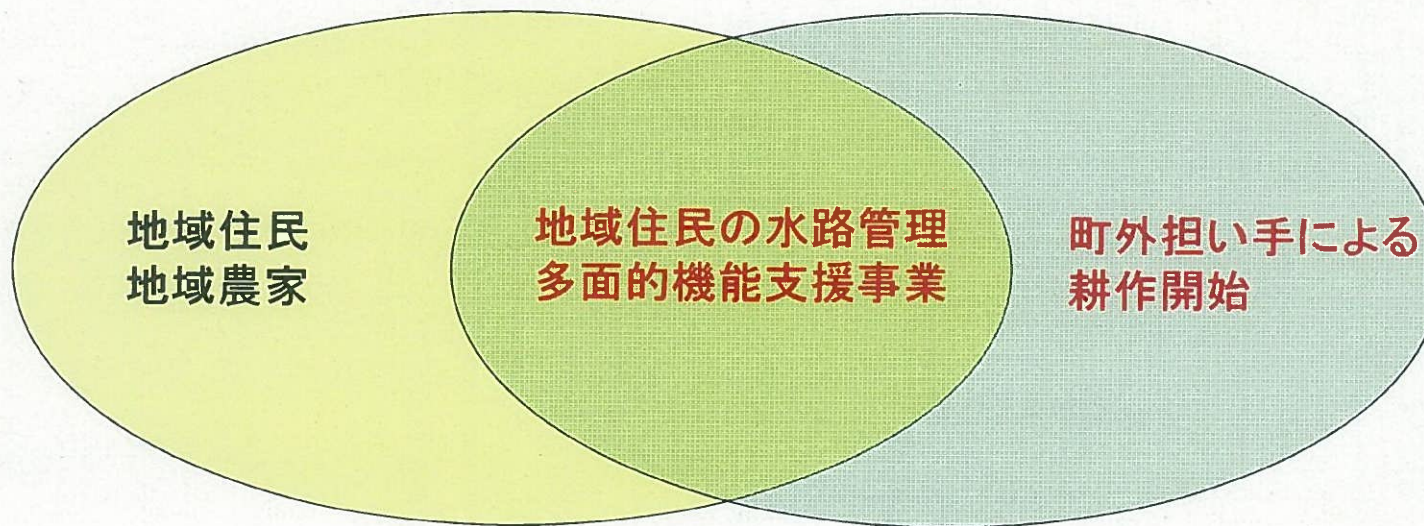
○農地利用集積計画の同意を秋田県農業公社に提出

秋田県農業公社と農地借用契約(受け手と出し手)

○農用地利用集積配分計画(案)を秋田県農業公社に提出

行政から担い手に対するサポート

地域住民のルール



地域の住民や農家に配慮



地域住民による水路管理や多目的機能支援事業等の
共同作業に参加してコミュニケーションを図る。

農地中間管理事業の状況

- 中間管理機構が藤里町の農地24haを町外の借受希望者に農地を貸付
- 町外から農業法人2件が参入し、27haの農地を耕作（遊休農地防止することが出来た）
- 短い期間で今年度作付をすることが出来た
- 農業法人は、藤里町住民1名を新規雇用
- 近隣農地に対して水路の使用、管理等で迷惑をかけた
- 気候、農地条件に合わない等で作物栽培が遅れた

農地中間管理事業現場



農地中間管理事業現地研修会



大豆栽培



水稻栽培

藤里町農業委員会

平成28年7月25日

Fin

ご清聴ありがとうございました